

大会プログラム

11月8日(土)

11:30～12:15 理事会 (任期：2024年11月25日～2026年通常総会開催日)

13:00～14:00 受付

14:05～14:10 学会大会開会の辞

14:10～16:10 第14回 日本海洋人間学会大会 シンポジウム - 無料一般公開 -

「人とフィッシングの未来像」

シンポジスト：

遠藤 伸太郎 (千葉工業大学)

「教育×フィッシング―実践を通じた課題と展望―」

荒井 良乃介 (DAIWA フィールドテスター)

「フィッシングの魅力について」

原 良一 (株式会社 AT フィールド)

「フィッシングの可能性：SUP フィッシングを題材に」

小菅 綾香 (水産経済新聞社)

「釣りを取り巻く現状と展望」

モデレーター：平野 貴也 (天理大学)

16:20～17:30 口頭発表 セッション1 および 高校生研究発表

座長：漆谷 伸介 (国土交通省)

Ob01. 海水浴場における迷惑・禁止行為と管理上の課題

加藤 淳 (東海大学総合理工学研究科)

Oa01. 沿岸域における捜索用ブイを活用した行方不明者捜索の効率化について

伊藤 裕樹 (海上保安庁第三管区海上保安本部警備救難部救難課／東京海洋大学大学院)

Oa02. セーリング事故の原因に関する分析

寺澤 寿一 (公益財団法人日本セーリング連盟)

高校生研究発表. ドローンおよびマリンスポーツを活用した環境保全活動について

北海道小樽水産高等学校

発表者：海洋漁業科3年 佐野 佑斗 高橋 シンバ

指導教員：澤田 和之

コーディネーター：鉄 多加志 (東海大学)

18:00～20:00 懇親会 (大学会館食堂ホール)

11月9日(日)

9:15～9:50 受付

9:55～10:55 口頭発表 セッション2

座長：中原 尚知（東京海洋大学）

Oa03. 大学研究室のSNS広報に関する研究

山中 翔太（神戸大学）

Oa04. 海没している戦跡を取り巻く近年の動向

鉄 多加志（東海大学）

Oa05. 漁業分野における外国人受け入れに関する課題と展望

万谷 小百合（海技教育機構）

Oa06. 乗船実習におけるルーブリック評価の考察

林 敏史（東京海洋大学）

11:00～12:00 口頭発表 セッション3

座長：小泉 和史（日本体育大学）

Oa07. マリンスポーツツーリズム参加者の行動、参加動機と満足に関する研究－沖縄と海南の比較－

侯 泉宇（東京海洋大学大学院）

Oa08. 中高年齢者のSUP運動による運動効果 ～2回/週・全13回のSUP教室の事例～

中村 夏実（鹿屋体育大学）

Oa09. レクリエーショナルな日帰りスクーバダイビングツアーにおける自律神経系活性度、気分状態、および疲労感の経時的変化

藤本 浩一（東京海洋大学）

Oa10. 息こらえ潜水活動が自律神経系活性度および気分状態に及ぼす影響

藤本 浩一（東京海洋大学）

タイトルの記号は以下の通りです

Oa：口頭による研究発表

Ob：口頭による実践報告

12:00～12:20 ポスターセッション

Pb01. 海中ゴミの見える化と新たな取り組みについて

満田 かなん（東海大学海洋学部）

タイトルの記号は以下の通りです

Pa：ポスターによる研究発表

Pb：ポスターによる実践報告

12:20～13:20 昼食

13:20～14:10 第14回日本海洋人間学会総会

14:10～14:20 優秀発表賞等表彰式

14:20～14:25 学会大会閉会の辞